

環境経営レポート

(運用期間:2023年4月1日～2024年3月31日)

第02号



株式会社エコ・ライズ

作成日:2024年5月31日

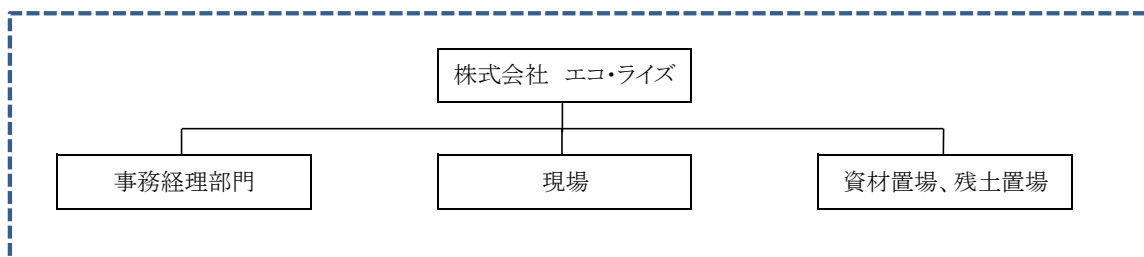
目 次

I. 組織の概要		P 1
II. 実施体制		P 2
III. 環境経営方針		P 3
IV. 環境経営目標		P 4
V. 環境経営計画		P 5
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標		P 6
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画		P 7
VIII. 当社の取組み		P 8
◆地域との融合◆		P 9
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無		P 10
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示		P 11

I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社エコ・ライズ
2. 代表者氏名 増田 昇司
3. 所在地 本社: 静岡県藤枝市大西町3-20-53
資材置場: 静岡県藤枝市大西町1-14-22
残土置場: 静岡県藤枝市大西町3-19-2
4. 事業活動 建設業(土木、とび・土工工事業)
5. 従業員数 20名
6. 環境管理責任者 石井 菜央
連絡担当者 石井 菜央
7. 連絡先 TEL (054) 637-1231 FAX (054) 637-1270
E-mail: ecorise-company@cy.tnc.ne.jp
8. 建設業許可
建設業
静岡県知事許可(般-6) 第35255号
許可業種: 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼造物工事業、舗装工事業、
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業
許可年月日: 2024年8月9日 有効期限: 2024年8月8日

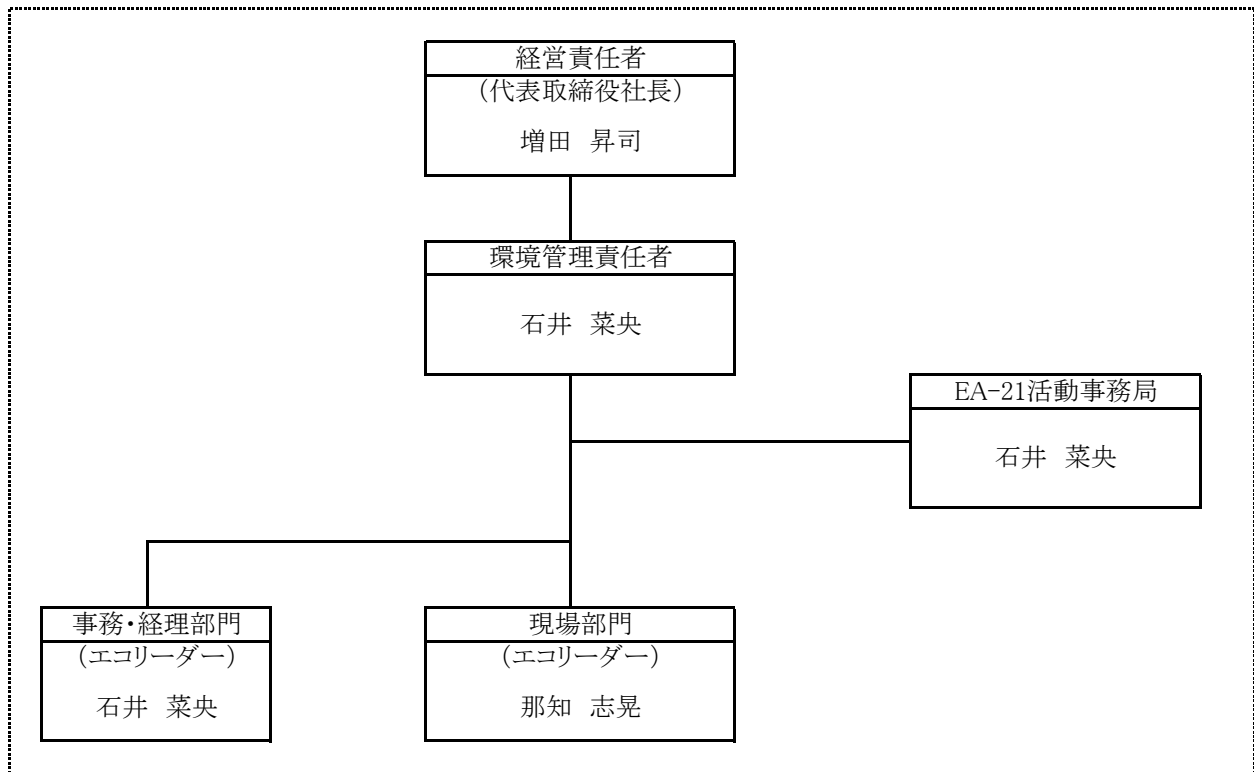
産業廃棄物収集・運搬 ※自社運搬のみ
静岡県 第02201168678号
許可品目: 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず
許可年月日: 2022年10月25日 有効期限: 2027年10月24日
9. 事業の規模
① 設立 2008年4月
② 事業規模
- | 活動規模 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 348 | 322 | 368 | 310 |
| 従業員 | 人 | 29 | 26 | 22 | 20 |
| 事務所床面積 | m ² | 150 | 150 | 150 | 150 |
| 残土置場面積 | m ² | 931 | 931 | 931 | 931 |
| 資機材置場面積 | m ² | 990 | 990 | 990 | 990 |
10. 事業年度 4月1日～翌年3月31日
11. レポートの運用期間及び発行日
環境経営レポート運用期間(2023年4月1日～2024年3月31日)
環境経営レポート発行日(2024年5月31日)
12. 認証・登録の対象範囲
活動: 建設業(土木、とび・土工工事業)
対象組織: 本社、資材置場、残土置場



Ⅱ 実施体制

作成日:2023年3月31日

作成者:石井 菜央



< 環境管理組織における機能 >

経営責任者

- ① 環境経営システムに必要な資源の準備 (ヒト・モノ・カネ・情報)
- ② 環境経営全般に対しての責任と権限委譲
- ③ 環境経営方針の作成と社員への周知
- ④ 環境管理責任者の任命
- ⑤ 効果的で十分な実施体制の構築、全従業員への周知
- ⑥ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑦ 全体の評価と見直し

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営責任者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規等最新版管理
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員への教育

Ⅲ 環境経営方針

《環境理念》

株式会社エコ・ライズは、建設工事の事業活動を通じて、社名由来に基づき環境問題や地域の環境活動に積極的に取り組みます。安全で安心していただける工事を積極的に取り組み環境に配慮した工事を目指し、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

《環境方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ① CO₂削減の為、省エネ活動に取り組みます。
 - ② 廃棄物の削減、再資源化推進の活動に取り組みます。
 - ③ 水資源を有効活用し、節水に努めながら適正管理を実施します。
 - ④ 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
 - ⑤ 建設リサイクル法による廃棄物の適正処理をいたします。
 - ⑥ ICT化を活用し、環境経営の推進に取り組みます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。
4. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。
また、社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます

制定年月日 2023年3月31日

株式会社 エコ・ライズ

代表取締役 増田 昇司

IV 環境経営目標

1. 運用期間(2023年4月～2024年3月)

項目	単位	基準期間	運用期間	
		2022年4月～ 2023年3月	2023年4月 ～ 2024年3月	
		基準値	目標	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	125,828	-1%	124,569
内訳	電力	kWh	-1%	9,844
	ガソリン	L	-1%	22,011
	軽油	L	-1%	27,010
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	-1%	88.6
	産業廃棄物排出量	t	-1%	186.6
水道使用量の適正管理	m ³	16.00		適正管理
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率維持管理	%	99.6	95%以上
	環境配慮工事の提案	件		現状把握
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	件		現状把握

水道使用量は平均25m³未満を基準値と設定し適正管理を実施する。

2. 中期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
			2022年4月 ～ 2023年3月	2023年4月 ～ 2024年3月	2024年4月 ～ 2025年3月	2025年4月 ～ 2026年3月	2026年4月 ～ 2027年3月	
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	125,828	124,569	123,311	122,053	120,795	
内訳	電力	kWh	9,943	9,844	9,744	9,645	9,545	
	ガソリン	L	22,233	22,011	21,789	21,566	21,344	
	軽油	L	27,282	27,010	26,737	26,464	26,191	
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	89.5	89	88	87	86	
	産業廃棄物排出量	t	188.5	187	185	183	181	
水道使用量の適正管理		m ³	16.0	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率維持管理	%	99.6	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	
	環境配慮工事の提案	件	—	現状把握	+1件	+3件	+5件	
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	件	—	現状把握	+1件	+2件	+3件	

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2021年度)の調整後排出係数「0.388kg-CO₂/kWh」を使用した。
- 2023年度の環境配慮工事の提案については、現状を把握に努め、次年度以降件数を増加させていく方針。
- 建設副産物リサイクル率は95%以上を維持管理目標とする。
- 水道使用量は平均25m³未満を基準値と設定し適正管理を実施する。

V 環境経営計画

(運用期間:2023年4月～2024年3月)

目標	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール			
					4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	石井	① 消灯の徹底(1回／週チェックする)				
				② タイムスイッチの適切な時間変更				
				③ OA機器の電源チェック				
		空調	石井	① 温度設定夏28℃ 冬20℃				
				② クールビズ、ウォームビズ				
				③ フィルター定期清掃	月初			
				④ 使用していない部屋の空調停止				
				② 不在時の換気扇停止				
				③ 冷蔵庫の保冷対策				
	ガソリン・軽油	乗用車・トラック	那知	① エコドライブ				
				② エコ整備				
				③ 日常・定期点検の実施				
				④ 省エネ車の導入検討				
				⑤ 排ガス対応車の導入検討				
		重機	那知	① アイドリングストップ				
				② 省エネ重機の使用				
廃棄物の削減	事務所		石井	① コピー用紙の両面使用				
				② 集約化購買				
				③ FAXのPDF化				
				④ 3Rの実践				
				⑤ 封筒の再利用				
				⑥ 廃棄物の分別とリサイクル				
	現場		石井	① 廃棄物の分別化				
				② 分別ルート新規開拓				
				③ 電子マニフェストの導入				
				④ 混廃BOX等への不法投棄防止対策(防犯カメラの設置)	月初			
				⑤ 仮設資材、用具のリユース化				
水使用量の削減	上水		石井	① 節水表示	月初			
				② ストップガンの使用				
				③ 高圧洗浄機の使用				
				④ 節水こまの取り付け	取付			
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率維持管理		那知	① 分別の徹底				
				② 持込業者の選定				
	環境配慮工事の提案		那知	① 特定工事での施工計画への反映の検討				
				② 環境配慮工事の提案の検討				
				③ 間伐材使用バリケードの購入検討				
				④ リサイクル材の購入検討				
環境経営の推進	ICT化による請負工事数		那知	① ICT化による請負工事を増やす				
地域貢献			那知	① 地域溝漕いの参加及び重機ダンプ等貸出				
				② 近隣道路清掃				

VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年4月～2024年3月)の環境目標と実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2022年4月 ～ 2023年3月	2023年4月 ～ 2024年3月				
			基準値	目標 削減率	目標値	実績値	実績 削減率	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	125,828	-1%	124,569	81449.1	-35.3%	○
内訳	電力	kWh	9,943	-1%	9,844	11355.8	14.2%	×
	ガソリン	L	22,233	-1%	22,011	16278.5	-26.8%	○
	軽油	L	27,282	-1%	27,010	15223.7	-44.2%	○
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	89.50	-1%	88.605	77.6	-13.3%	○
	産業廃棄物排出量	t	188.5	-1%	186.6	355.1	190.3%	×
水道使用量の適正管理		m ³	16.0	-	適正管理	51.0	318.8%	×
環境に配慮した 自社の取り組み	建設副産物リサイクル率 の維持管理	%	99.6		95%以上	99.8	105.1%	○
	環境配慮工事の提案	件	—		現状把握	0	-	○
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	件	-		現状把握	0	-	○

< 評価 >

産業廃棄物排出量	原因	元請工事が多くなり量が増えた。
	是正	受注量に反映してくるが、適正処理を行う。
電力	原因	工具のバッテリー等を事務所で充電することが増えた。
	是正	使用していないコンセントは外し、節電を心がける。
水道使用量	原因	生コン使用後の洗浄、散水が増えた。
	是正	節水に心がける

②次年度の環境経営目標

二酸化炭素排出量は全体的に削減はできたが、電力は削減できなかったなので再度教育し徹底していく方針。

VII 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間:2023年4月～2024年3月)

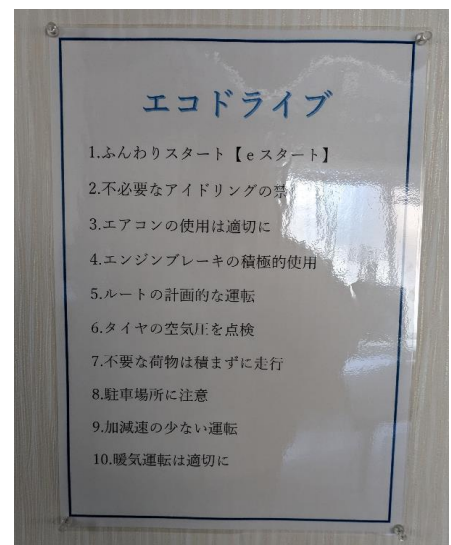
目的	区分	項目	責任者	活動項目	評 価		今期(2024.4～2025.3) の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	石井	① 消灯の徹底(1回／週チェックする)	△	掲示→徹底されている	継続実施
				② タイムスイッチの適切な時間変更	○	実施された	継続実施
				③ OA機器の電源チェック	△	実施された	継続実施
		空調	石井	① 温度設定夏28℃ 冬20℃	○	表示、随時確認	継続実施
				② クールビズ、ウォームビズ	○	実施された	継続実施
				③ フィルター定期清掃	○	実施された	継続実施
				④ 使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
				② 不在時の換気扇停止	△	都度確認する	継続実施
				③ 冷蔵庫の保冷対策	○		継続実施
	ガソリン・ 軽油	車両	那知	① エコドライブ	○	周知の徹底	継続実施
				② エコ整備	○	省エネオイルOK	継続実施
				③ 日常・定期点検の実施	△	周知の徹底	継続実施
				④ 省エネ車の導入検討	○	実施された	継続実施
				⑤ 排ガス対応車の導入検討	○	実施された	継続実施
		重機	那知	① アイドリングストップ	○	施工計画反映・徹底されている	継続実施
				② 省エネ重機の使用	○	施工計画反映・徹底されている	継続実施
廃棄物の削減	事務所	石井	① コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施	
			② 集約化購買	○	徹底されている	継続実施	
			③ FAXのPDF化	△	印刷すべきFAXが一部あったため。	継続実施	
			④ 3Rの実践	○	徹底されている	継続実施	
			⑤ 封筒の再利用	○	分別基準と実施	継続実施	
			⑥ 廃棄物の分別とリサイクル	△	分別の再度周知	継続実施	
	現場	那知	① 廃棄物の分別化	○	徹底されている	継続実施	
			② 分別ルート新規開拓	○	新規プラスチック販売ルート	継続実施	
			③ 電子マニフェストの導入	－	検討実施	実施予定	
			④ 混廃BOX等への不法投棄防止	×	混廃BOXへ電球、電池混入	提示、周知の徹底	
			⑤ 仮設資材、用具のリユース化	○		継続実施	
水使用量の削減	上水	石井	① 節水表示	○	表示OK	継続実施	
			② ストップガンの使用	△	再度周知の徹底	継続実施	
			③ 高圧洗浄機の使用	△	再度周知の徹底	継続実施	
			④ 漏水チェック	○	2ヶ月に1回検針票確認	継続実施	
事務所内における廃棄物の分別とリサイクル	事務所内廃棄物	那知	① 分別のルール策定	○	検討実施	継続実施	
			② 分別の徹底教育	○	検討実施	継続実施	
環境に配慮した自社の 取り組み	建設副産物リサイクル率維持管理	那知	① 分別の徹底	○	検討実施	継続実施	
			② 持込業者の選定	○	検討実施	継続実施	
	環境配慮工事の提案	石井	① 特定工事での施工計画への反映の検討	○	検討実施	継続実施	
			② 環境配慮工事の提案の検討	○	検討実施	継続実施	
			③ 間伐材使用バリケードの購入	○	検討実施	継続実施	
			④ リサイクル材の購入検討	○	検討実施	継続実施	
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	那知	① ICT化による請負工事を増やす	－	該当工事なし	継続実施	
地域貢献		石井	① 地域溝漕いの参加及び重機ダンプ等貸出	○	実施	継続実施	
			② 近隣道路等清掃	○	月1回作業場前道路清掃	継続実施	

<備考>

評価判定:○(良くてきた) △(まあまあできた) ×(できなかった) —(実施が見送られた)

VIII 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



◆ごみの分別で処理時のCO2削減◆



地域貢献活動の実施

◆地域との融合◆

近隣清掃



現場付近清掃



IX 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年4月5日
評価者 環境管理責任者 石井 菜央

	適用内容または規制基準値	遵守事項及び状況	遵守評価
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○
	マニフェストの交付		○
	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのB2(90日以内)、D,E票(180日以内)の期間内返却	○
	産業廃棄物の収集運搬業者の許可	県知事の許可および有効期限の確認	○
	産業廃棄物処理基準の遵守	産業廃棄物収集運搬業者	○
	産業廃棄物の収集運搬業者の許可等変更	県知事の許可および有効期限の確認	○
	産業廃棄物管理責任者の選任	代表取締役 増田 昇司	○
	産業廃棄物処理委託業者の現地確認と記録保管	処理業者の現地確認と記録(優良事業者は対象外)	○
騒音規制法 騒音規制法施行令 騒音規制法施行規則 静岡県生活環境の保全等に関する条例 (施行規則)	当社の工事全般 残土置場における重機の使用	騒音の規制値の遵守 施工前の近隣挨拶 施工時間帯の考慮 残土置場における重機の使用時間の徹底	○ ○ ○ ○
振動規制法 振動規制法施行令 振動規制法施行規則 静岡県生活環境の保全等に関する条例 (施行規則)	当社の工事全般 残土置場における重機の使用	振動の規制値の遵守 施工前の近隣挨拶 施工時間帯の考慮 残土置場における重機の使用時間の徹底	○ ○ ○ ○
建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	建設業者の責務	分別の励行、リサイクルの推進	○
	対象建設工事受注者又は自主施工者の分別解体等の実施	解体工事-床面積合計80㎡以上 新築・増築工事-床面積合計500㎡以上 その他の工作物に関する工事(土木工事等-請負代金額500万円以上)	○
	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	○
	対象建設工事受注者の発注者への届出事項の説明		○
	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		○
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃に実施	点検	○
	指定検査機関による定期水質検査(1回/年)	法定検査	○
家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の支払	○
自動車リサイクル法	廃棄自動車の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	車両廃棄時のサイクル料金の支払	○
フロン排出抑制法	対象設備のフロン漏洩点検の実施	3ヵ月毎に業務用エアコンの自主点検実施	○
	対象設備廃棄時のフロン専用マニフェストの交付	廃棄時は専門業者による引取り依頼の実施	○
	対象設備廃棄後チェックリストの保管	対象設備廃棄後5年間自主点検記録の保管	○
建設業法	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○
	主任技術者の設置		○
	管理技術者の設置		○
リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年4月5日

1・見直し 関連情報	項 目		確認 (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	水道使用量削減未達成
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	もう少し運用を続け、状況を判断します。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	継続して取り組みます
	8	その他 ()	☐	

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	取組み姿勢が全体的に見受けられたが、電気、水の使用量が増えてしまった事が課題でもあるが。だが、要因としては工事施工に伴い創意工夫の中で散水車の使用がなされた事が見受けられる。電気の使用量に関しては、もっと社員へ周知の徹底をし改善していかねばならない。 建設混合廃棄物に関しても、元請工事が多かったので発生量が増えたが、適切な分別を行い混廃の発生量を減らせることが出来れば、もっと建設副産物リサイクル率向上が見込まれると思うので、社員一同より一層環境経営計画に積極的に取り組んでいきます。 まだ、始めたばかりであり環境経営方針や環境マネジメントシステムその他については変更の必要性はないと判断しますが、目標を達成するよう環境経営計画等を見直すことを下記のような環境管理責任者に指示しました。			
	2024年4月5日 株式会社エコ・ライズ 代表取締役 増田 昇司			
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒	
	2	環境経営目標	☒ ・無	未達成になった要因を把握し目標の立て方を検討すること
	3	環境経営計画	☒ ・無	未達成の目標については環境経営計画を見直し手段を増やすこと
	4	環境に関する組織(実施体制含め)	有・ ☒	
	5	その他のシステム要素	有・ ☒	
	6	その他(外部への対応)	有・ ☒	